**職　務　経　歴　書**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　20xx年xx月xx日現在

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　○○ ○○

**■職務要約**

法律事務所での企業法務経験を経て、上場企業の法務担当として、契約法務・商事法務・国際法務を幅広く手がけてまいりました。米国留学も経験し、近年では海外M＆Aにも実績を有しています。

**■職務経歴**

□20xx年xx月～現在　○○○○株式会社

◆事業内容：通信関連事業

◆資本金：○○○百万円　売上高：○○○百万円　従業員数：○○○名　上場

|  |  |
| --- | --- |
| 期間 | 業務内容 |
| 20xx年xx月  　～　現在 | 法務部/国際法務担当　　※20xx年xx月より課長 |
| 海外M＆A（米国・中国）  ・弁護士事務所選定  ・法務デューデリジェンス支援  ・契約締結  ・秘密保持契約基本合意  ・株式譲渡契約  ・株主間契約等の作成交渉支援  ・クロージング支援  ・PMI支援  ・売主側・買主側との交渉  スタートアップ企業投資  紛争処理  ・海外訴訟（PL訴訟等）  ・調停、仲裁のサポート  ・クレーム対応（製品不良時の損害賠償請求など） |
| 課長以下○名 |
| 20xx年xx月  　～  20xx年xx月 | 海外留学  ○○州立大学ロースクール法学修士（LLM） |
| 20xx年xx月  　～  20xx年xx月 | 法務部/商事法務担当 |
| 株主総会事務局  ・Q＆A作成  ・議事録作成  ・書面決議対応  登記手続き対応  取締役会運営  コーポレートガバナンス対応 |
| 課長以下○名 |
| 20xx年xx月  　～  20xx年xx月 | 法務部/契約法務担当 |
| 契約審査（製品は電子部品、部材）：代理店契約、売買契約、保守メンテナンス契約、特許契約、土地賃貸借契約等  ・定型を除き30～40通/月  ・和文契約と英文契約の割合は60:40  紛争案件対応：相手方との直接交渉も実施、カナダ子会社との電話協議も実施  事業部およびコンプライアンス部門からの相談対応  新規事業支援  新入社員研修 |
| 課長以下○名 |

□20xx年xx月～20xx年xx月　○○○○事務所

◆事業内容：法律事務所

◆売上高：○○○百万円（20xx年）　従業員数：○○○名　非上場

|  |  |
| --- | --- |
| 期間 | 業務内容 |
| 20xx年xx月  　～  20xx年xx月 | 弁護士業務 |
| 上場企業のクライアントを中心とした企業法務  ・契約書の作成、レビュー、交渉、締結  ・コンプライアンスの相談対応  ・新規事業におけるリスク検討 |
| メンバー○名 |

□20xx年xx月～20xx年xx月　○○○○事務所

◆事業内容：法律事務所

◆売上高：○○○百万円（20xx年）　従業員数：○○○名　非上場

|  |  |
| --- | --- |
| 期間 | 業務内容 |
| 20xx年xx月  　～  20xx年xx月 | 弁護士業務 |
| 破産事件  ・債権者交渉:不動産に設定されている担保権抹消の交渉  ・競売状況調査：執行部で競売事件の進捗状況確認  ・不動産決済立会：金融機関での決済立会、売買代金回収、債権者への弁済金交付、担保抹消書類回収  相続事件  ・財産目録作成：被相続人の資産内容を調査し、相続財産を確定  ・相続税・相続登記申告準備：税理士・司法書士の指示の下、必要資料の収集  資産管理  ・借地権管理：借地契約に基づく地代支払、地権者からの問い合わせ対応  ・賃貸借契約管理：貸借人からの賃料改修、賃貸借契約の更新 |
| メンバー○名 |

**■活かせる経験・知識・技術**

　・グローバル企業での英文契約対応および海外M＆A ・訴訟に関する知見

・米国ロースクールへの留学経験や米国弁護士資格を生かした国際ビジネスへの造詣

　・コーポレートガバナンス・コードへの対応

　・新規事業の支援

**■資格**

司法試験合格（（20xx年xx月）日本弁護士（○期）

**■語学**

TOEIC 890点（20xx年xx月）

英文契約書のレビュー／現地法人との会議でのコミュニケーション／現地顧客との契約交渉

**■自己ＰＲ**

あまり、限定せずに簡潔に！

法律の専門家として法的な可否をジャッジするだけでなく、「経営戦略を実現する支援者」であるという意識を持って取り組んでまいりました。新たなサービスや事業を世に送り出すため、法律的なハードルの解消に向け、事業部と一体になって推進することを心がけております。

事業創出の手段の一つであるM＆Aに関しても、買収形態のスキーム検討から携わるなど初期フェーズから介入し、スピーディな戦略実現に貢献したいと考えております。

以上